

※1枚ずつお取りください。

川上校区 第142号 公民館だより

発行-佐賀市立川上公民館 TEL (62) 5775 FAX (62) 5775
E-mail : kkawakami@city.saga.lg.jp



川上小6年 古賀 善希さん(江熊野) 作品名:「大すきな川上小」

令和6年(2024年)3月

佐賀市の人口 227,870人 川上校区の人口 5,738人 川上校区の世帯数 2,237世帯 【令和6年1月末現在】

川上校区公民館からのお知らせ 佐賀市のwebサイト「つながる川上」

まちづくり協議会で実施している活動、校区の行事、公民館講座など、生活に役立つ便利で楽しい情報を掲載しています。

「つながる川上」



公民館のご利用について

皆さんの生涯学習やサークル活動、地域コミュニティ活動の場として、どなたでも部屋のご利用ができます。
(※営利活動等は除く)



「公民館予約システム」
自宅からでも



公民館主催・共催講座募集のお知らせ

市内の全公民館で
開催予定

各携帯会社が優しく教えてくれる!後日の安心フォロー付き
スマホ教室～キャッシュレススマホ決済まで～

参加者募集

キャッシュレススマホ決済
体験教室【川上会場】

日時：3月29日(金)
10:00~12:00

場所：川上校区公民館

講師：ソフトバンク

定員：20名(先着順)

参加費：無料

申込方法

川上校区公民館(62-5775)に
電話で申し込んでください。



今からはスマホ決済が便利!と聞くけど・・・何だか不安、家族に何回も聞くと面倒くさがられるし・・・そんな悩みを解消しませんか?各携帯会社がスマホ教室を市立公民館で開催します。後日分からなくなっても、安心のフォローを各ショップ窓口で受けられます。

■携帯会社：ソフトバンク・au・ドコモ ※スマホの貸出し等あり

■対象：佐賀市内にお住いの方 ■参加料：無料

■実施期間及び場所：佐賀市内の各市立公民館

各公民館での実施日時や担当携帯会社等の詳しい内容等は、佐賀市ホームページや各校区の『つながるさがし』で案内します

■講座内容例

(会社毎に、講座内容等異なる場合がありますのでご了承ください。)ガラケーとスマホの違い、マップ、カメラ、スマホ決済、QRコード他

◎問い合わせ

佐賀市内の各市立公民館、及び公民館支援課 ☎40-7370 FAX40-7385 ✉kominkan@city.saga.lg.jp

「野菜作りと収穫」を楽しむ家庭菜園教室を開催します

1. 夏野菜(しゃくし菜・キュウリ・ナス・ズッキーニ)を作るための13区画(1区画約3.0m×4.5m=13.5㎡)の土地を1グループまたは、1家族につき1区画を解放します。
2. 参加者が教室以外の野菜を植えられて収穫することも出来ます。

苗植付け日：5月12日(日)

作業時間：9:00~11:30

集合場所：川上校区公民館

参加費：2,500円(秋冬野菜込み)

募集区画：13区画(13組・先着順)

申込み締切：4月22日(月)

持参品：軍手、移植ゴテ、ジョウロ



公民館・まち協共催(写真は昨年(2023年)の家庭菜園の様子)

※詳細については、川上校区公民館(Tel 62-5775)にお問い合わせください。

公民館主催・共催講座等の報告



第4回川上凧あげ祭りを開催しました



川上校区の各種団体で実行委員会を組織し、準備に4回の会議を重ねてきました。

当日は、心配された天候も回復し凧あげには絶好の日和となり、子どもから高齢者まで幅広い世代の人が参加しました。親子、友人の絆を深めることを目的にしたイベントは、成功裏に終了しました。各団体相互が支えあうことで、地域コミュニティの形成につながっていく祭りにもなりました。各種の催し物と7つの模擬店による無料振舞いで大いに祭りを盛り上げることができました。

また、会場には能登半島地震義援金募金箱を設置させていただき、ご寄付額 36,631円は、日本赤十字社佐賀県支部を通して被災者の元へお届けさせていただきました。最後に校区の各種団体の皆様のご協力と参加者の皆様の笑顔に感謝申し上げます。有難うございました。

【開催日：令和6年1月21日（日）総参加者数：主催者発表 1,200名（従事者含む）】

【主 催：川上校区凧あげ祭り実行委員会（構成数9団体）共催：川上校区公民館】



先ず大凧の作成から（紙鷺の会の中原さん）



凧あげ祭り前日にボン菓子族自治会長会と自治会女性部で作りました



受付では長い行列ができました



早速凧を揚げる家族で賑わいました



子どもたちの笑顔が咲きました



来場の皆さんを連凧が歓迎しました



芸人そっくりの大凧も揚がりました



與止日女神社の使いと言い伝えのあるナマズ凧も



坂下さん（福岡凧の会）の六角凧



子どもをおんぶしたお母さんと笑顔で



お母さんが主導権を握って笑顔で競技に参加しました



友人同士で楽しみました



坂下さん(福岡凧の会)干支の龍も



バラモン大凧(紙鷺の会の中原さん作成)も揚がりました



川上小児童によるキッズダンスの披露



和楽団による大太鼓の演奏



ぜんざいの振舞いに沢山の行列が



ぜんざいの餅焼きは大変でした



西山田農園からシシ汁の振舞いも



よかやっこ大和による綿菓子の振舞い



ボン菓子の振舞いは自治会女性部で担当



凧揚げの合間の休憩所



まち協(農業部会)が育てた大根の配布も



こんな案山子さんも展示しました(ちなみに着物を身に付けているのは本物の子牛)



凧の争奪戦では宮川大輔・アントニオ猪木のそっくりさんが買って出ました

川上の郷土料理「鮎の昆布巻き」教室を開催しました

川上で古くから伝わる郷土料理「鮎の昆布巻き」は、おくんちなどのハレの日に、どこの家庭でも「鮎の昆布巻き」を作っていたそうです。講師は、まちづくり協議会、農業の良さを活かしたまちおこし部会副部会長の北村タツ子さんです。今回もレシピに頼らず、むかし味の記憶をたどり、調味料(醤油、ザラメ、水飴、あめがた、みりん)の加減は、勘に頼っての味付けです。大鍋(コンニャク、レンコン、ゴボウ、大根、昆布に巻いた鮎の順)の火加減を調整しながら3日(18時間)かけて煮込みました。持ち帰りのために集まった参加者は、出来栄えと味にいたく感動されていました。【1月24日(水)~26日(金)受講者10名 公民館・まち協共催】



昆布で巻いて楊枝でとめます



順番どおりに大鍋に投入



申し分ない出来栄えです



完璧に昔の味を再現できました

🌸 令和5年度佐賀市二十歳のつどい(大和会場) 🌸

1月7日(日)大和地区(春日、春日北、川上、松梅)の二十歳のつどいが龍登園で執り行われました。川上校区の対象者は52名で、全体で160名の参加がありました。会場の中では、友人や恩師との再会で喜びと熱気にあふれていました。また、式典の司会進行を川上校区出身の高岸さんと蒲原さんが努めてくれました。【佐賀市主催】



会場に向かう参加者



受付での様子です



進行役の高岸さん(左)と蒲原さん



ちょっとだけ弾けてハイチーズ

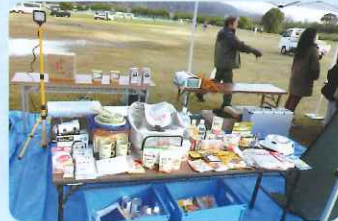


自主防災会本部で炊き出し訓練を実施しました 🍲

川上校区自主防災会活動として、年4回の取り組みの一つ、炊き出し訓練を「かわかみ凧あげ祭り」に併せて実施しました。凧揚げ参加者を避難者とみなして防災食(カレーライス)350食を準備しました。多くの参加者であふれた会場では、子ども連れの親子、観覧者、スタッフの皆さんが列を作り防災食の提供を受けました。また、同時に校区内のハザードマップ、災害備蓄食料及び災害時における資機材の展示なども行いました。自主防災会本部派遣要員の皆さん本当にお疲れ様でした。有難うございました。【於：はなはな公園 1月21日(日)・自主防災会本部主催】



自主防災会本部派遣要員の皆さんの協力を得て350食のカレーライスの炊き出しをしました



川上校区のハザードマップ・災害時備蓄品・資機材などの展示コーナーも設けました



佐賀市地域づくり交流会に参加しました 🧑🧒🧓

1月27日(土)メートプラザ佐賀を会場に、佐賀市地域づくり交流会が開催されました。市内のまちづくり協議会31団体他、市民活動団体、企業、大学など、総数51団体の参加で行われました。テーマは「持続可能なまちづくり～明るい未来へつなぐバトン～」です。川上校区まちづくり協議会の役員など8人が参加しました。佐賀市出身で花園大学の深川光耀氏の「私からはじまる協働のまちづくり」と題しての基調講演に始まり、春日北校区まちづくり協議会の安富千鶴氏による事例発表と防災士会代表の溝上良雄氏による防災士会の活動について、お話しをしていただきました。また、各団体の取り組みを紹介した展示パネルやブースが設けてあり、自由に話を聞くなど交流も行いました。この交流会が未来へのまちづくりのヒントになればと思っています。



深川氏による基調講演



川上のブースには沢山の人が



凧揚げ時のそっくりさん写真も



地域づくり交流会冊子